

ものの  
内容  
名まえ

◇ 第一段落

○ けんじさんは、

・ たがた

・ おねえさんと

・ 町へ

・ かいものに行く。

◇ 第二段落

○ はじめのおみせには

・ りんご、みかん、バナナなどが

・ ならんでいる。

・ 五百円でりんごをかう。

◇ 第三段落

○ このお店は、なにやさんでしょう。

◇ 要約

りんごやみかんなどをまとめた言

い方が「くだもの」|| 上位語である

ことに気づかせる。



## ◆ 第四段落

○ つぎに、

・ さかなやさんに  
い

く。  
・ あじ、さば、たい  
などがならんでいる。

## ◆ 第五段落

○ けんじさんとおみせの人の会話

・ けんじさんが「魚をください。」  
と

いう。  
・ お店のおじさんは「魚じゃ分  
か

## ◆ 第六段落

○ おじさんは、なぜ「わからない

よ。」と言ったのでしよう。

## ◆ 要約

買い物のときは、まとめてつけた

名前（上位語）では店の人には分から

ないので、個々の種類の名前は分

かからないので、共通理解が図れる。



◇第七段落

○ものには、一つ一つに名前がある。  
・りんご、みかん、バナナなど。

◇第八段落

○まとめてつけた名前  
もある。

・りんご、みかん、  
バナナなどをくだも  
のという。

◇第九段落

○魚も、まとめてつけ  
た名前である。

・あじ、さば、たい  
など、一つ一つの名  
前を使うこともあ  
る。



◇要約

身の回りには、上位語と下位語が  
あり、時々によって使い分ける。

